

1年生

11月の学校教育重点目標『心豊かで思いやりのある子』

【 友情や信頼を高められる授業を行っています。】

11月のふれあい月間に合わせて、道徳の時間に「二わのことり」という教材を使って、友達とお互いの気持ちを考えて仲よくし、助け合って生活することについて考えました。学習の最後には、「もっと友達と仲良くしていきたい。」や「困っている友達がいたら助けてあげたい。」と感想を述べている子もいました。また、道徳の授業だけではなく、他の授業でも班活動の時間を増やしたり、友達と交流する機会を意図的、計画的に設定したりすることで、協調性や友達と学び合うことの良さを味わえるようにしています。今後も友情や信頼を高められる場面を多く設定し、指導を継続していきたいと思います。



2年生

11月の学校教育重点目標『心豊かで思いやりのある子』

【 個性あふれる展覧会 】

11月は2年生にとって初めての展覧会でした。

展覧会に向けて最後まで粘り強く作品づくりに向き合いました。その過程で友達の手伝いに気づき、「ここ上手だね」「その色いいね」と素直に褒める合う姿が見られました。また、自他の作品をそっと運んだり、丁寧に置いたりなど、相手を思いやった行動をとることができました。「こうしたい」という思いを大切に、友達からの意見やアドバイスもと入れながら、個性あふれる作品を完成させていました。

展覧会の鑑賞では、他学年の作品にも関心をもち、工夫やよさを見つける姿がありました。「みんながんばってつくったんだね」「〇年生はすごいね」と気付いたことを言葉にして鑑賞することができました。また、「どうやってつくったのだろう」「つくるの大変だっただろうな」と、つくり手の気持ちを想像しながら話していました。ペア学年の4年生とも鑑賞し互いに手紙を通して感想を伝え合いました。

展覧会を通して、友達や他学年の作品のよさに気づき、手紙を通して手紙を通してつくり手の思いを想像しながら温かい言葉で伝えることができました。様々なご協力ありがとうございました。



3年生

11月の学校教育重点目標『心豊かで思いやりのある子』

【感動や感謝の気持ちを表そう】

展覧会の「たてわり鑑賞」では、ペアになった5年生と、自分の作品に対する思いや、制作過程の工夫などについて互いに紹介し合いました。5年生に褒めてもらって、満足そうな笑みを浮かべたり、緊張した面持ちで5年生に作品の素敵などところを伝えたりする皆の微笑ましい姿で、会場中がきらきらと輝いて見えました。教室に戻って来ると「5年生に優しく教えてもらって嬉しかった。」「自分も次の展覧会ときには今の5年生みたいになりたい。」など、嬉しそうに友達と話していました。

鑑賞後に、3年生は5年生へメッセージカードを書きました。「5年生みたいにきれいな焼き物を作りたい。」「糸のこスイスイのカーブがきれい。」「作品のことを優しく教えてくれてありがとう。」など、感動や感謝の思いを伝えました。

様々な体験は、一人一人の内面を温かく豊かに育んでくれます。今後も3年生が健やかに真っすぐ成長していてくれることを願っています。



4年生

11月の学校教育重点目標『心豊かで思いやりのある子』

【一緒に見ようね、よろしくね！】

～展覧会で2年生をエスコート～

11月14日に2年生と4年生がペアになり展覧会を鑑賞しました。4年生の子供たちは見学の進め方を考えていたようで、様々なペアの鑑賞の様子が見られました。お互いの自己紹介から始めるペア、得意げに自分たちの作品を紹介し合うペア、2年生の手を取りゆっくりと歩調を合わせて見学をするペア、自分の作品だけでなく4年生の作品を丁寧に説明する子、2年生の話に耳を傾けて優しく聞いてあげる子など、4年生のお兄さんお姉さんとしての優しく素敵な姿がたくさん見られました。鑑賞後は2年生を教室まで送り、気持ちのこもった鑑賞カードを書いて贈りました。2年生からも一生懸命に書いたカードが届き、嬉しそうにじっくりと読んでいました。着実に成長をしている4年生の姿に担任一同ほっこりとした気持ちになるひと時でした。どんな高学年に成長していくのか、楽しみです。



5年生

11月の学校教育重点目標『心豊かで思いやりのある子』

【たてわり鑑賞会】

展覧会では、3年生とペア・グループをつくり、鑑賞しました。作品の前に行くと、自分たちが作成したときの制作過程や工夫など、思い思いに対話を楽しんでいました。笑顔もたくさん見ることができ、会場の雰囲気がとても温かいものになりました。鑑賞が終わった後は、3年生を教室までしっかり送り届け、高学年としての役割もしっかり果たしていました。

来年度は最高学年として、新1年生相手にも今回の経験を生かしてほしいと思います。また、その後の片付け作業も高学年として一人一人が主体的に働き、スムーズに進めることができました。最高学年となる自覚が少しずつ芽生え始め、頼もしい姿を見せていました。



6年生

11月の学校教育重点目標『心豊かで思いやりのある子』

【最高学年として下級生のためにできること】

大きな行事や卒業アルバムのクラスページ作成など、様々なことに同時進行で取り組んできた6年生にとって、展示会のたてわり鑑賞で1年生と交流を図る時間は、最高学年としての意識や自覚を再認識する貴重なひとときとなりました。1年生の説明を聞き逃さないように懸命に聞く姿、1年生と同じ目の高さになるよう腰を曲げて作品を眺める姿、自分の作品の解説を1年生に伝わりやすいように意識して熱心に話す姿など、1年生と交流を深める様子が会場のあちらこちらで輝いて見えました。鑑賞後に書いた1年生へのメッセージカードも、心のこもった丁寧な字で1年生が読んだら嬉しくなるような内容を一人一人がじっくり考えて書き上げた素敵なものになりました。

3学期の奉仕活動に向けて、自分たちが最後に下級生のためにできることを考えられるようにつなげて指導していきます。



あおぞら

11月学校教育重点目標『心豊かで思いやりのある子』

11月27日に校外歩行で多摩川グラウンドに行きました。1週間前から事前学習を行い、ルールや遊びの内容を決めました。その際に、高学年は低学年の友達が遊びやすいように分かりやすいルールにしたり、簡単な言葉で説明したりすることができました。本番では、2列の時には車道に近い方を高学年が歩くようにすることで、低学年が安全に歩けるようにしていました。遊ぶときには、高学年が低学年に合わせて力を加減しながら、ドッジボールや鬼ごっこで遊ぶ姿が見られました。また、ルールの確認が必要な場面では高学年が率先して話し合い、解決することができました。

